

会員数 (57・4現在)

逗子地区 141名

葉山地区 296名

大船地区 58名

合計 495名

吟道月報

日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩心会 発行

57・4月
第117号

発行者

根岸 岳萃
中杉 編村 集愛
山 岳風

私と詩吟

一色B支部

寺脇歌風

未知の世界に一步足を踏み入れた私は、どうしていいかと迷う事ばかり……でもここまで来たんだからどんな事があってもやれるだけ努力してくじてはいけなへと我が心に鞭打っております。気分転換にテープをかけて流れる吟にたよって邁進しております。これからは未熟者の私をよろしくお願ひいたします。

何よりも嬉しなのはお教室の方達が和気あはくで毎週がすごく楽しく、一週間が待ちどおしへと云って下さり、又寺脇教室はしっかり手を組んでゆきませうと云って下さった言葉が何よりも心強く思ひました。

私のような未熟者でも信頼して歩んで下さる事を感謝してやみません。又会員の皆さんが会員をふやせませうと云ってくださいます。私の方が人生経験が長いのになくさめられるようです。三人の子供も一人立ちして私はなんの用もなく今はただ、吟一本に専念でき最高の倅です。吟は奥深く中広いので飽きる事なく邁進できます。心なごむ吟を聞きながらペンをおかせていただきます。

奥伝合格

おめでと
ございます

(五十七年四月一日付)

- 寺脇歌風 小林宝風 久保田伸風
- 平山宗風 一之瀬汀風 一之瀬英風
- 田上州風

碩心会支部別会員一覧表(57.4現在) 495名

(大船地区)		(葉山地区)		(逗子地区)					
大船A	17	根岸	立沢	根岸	佐藤	逗子A	43	根岸	石津
B	17	三井	森田	加藤	(佳)	B	8	三井	
戸塚	8	鈴木	(幸)	小峯		桜山A	15	三井	
松和	16	三井	下條	中村	(幸)(愛)	B	15	三井	
				白井	(寿)(麗)	沼間	10	三井	松野
				矢島		山根	9	三井	
		一色	合	鈴木	(幸)守谷	銀詠	19	千葉	(敏)(香)
		B		加藤	(幸)墨崎	葉月	11	三井	
		下山		沼田		夏澄	10	村田	
		吟甫	8	渡辺	沼田				
		長柄	15	竹石					
		諏訪	12	井沢					
		上山口	9	秋元					
		元町	8	秋元					
		滝の坂	16	上村					
		木の下	7	石渡					
		風早	12	杉山					
		横警	26	中村	(愛)				
(58)		(296)		(141)					

◎全国大会合吟コンクールに入賞

57年3月14日九段会館に於て左記の方々
のメンバ―によるチームが三位に入賞され
ました。おめでとうございます。

広瀬翔風 村田静風 石渡啓風 磯村朋風
重田由山 三壁照山 森 晴泉 星野輝泉
菊池早泉 水上昌泉

碩心会全国大会に堂々三位入賞

逗子A支部 松井正山

三月十四日東京九段会館において才81回
全国吟道大会が盛大に開催された。祝福
すべからず、当日は雲一つない好天に恵ま
れ、我々は少レでも良い席をと早朝に逗子
を出发、九時前に会場に着いたのに一階席
は満席、なんと二階へ16席を確保した。
十時開会、新田典作「朗詠」を全員による
大合吟、理事長松井岳洋先生の御製謹詠、
のちプログラムに従って進行、全国大会奪
らではの名吟が続く、十一時合旗入場、式
典と進む、大会々々長松井理事長の挨拶の中

で今年には社団法人認可十五周年、そして祖宗
範木村岳風先生ご他界より三十周年とあった
その記念すべき春の全国大会合吟コンクール
に於いて我等の碩心会女子が堂々三位に入賞
した。プロは順調に進み、理事長の寒梅を最
後にすべての吟詠を終了した。

竹末岳陽審査委員長よりコンクールの順位
が発表された。一位愛知連合会80点、二位長
野岳風会79点、そして三位神奈川碩心会79点
十人の出吟者はもとより、我々応援に行っ
た者感激、そして興奮しました。表彰する松井
理事長も身内の入賞に殊の外うれしそう
で、今年には碩心会も45周年を迎えますが、今
回の入賞が碩心会々員である我々にはこれから
の吟道に一層の自信をもたせてくれたように
思いました。

私達の代表十人の出吟者に心からおめで
たしを申し上げます。

福島正則と

二日酔

(日本号)

へ酒は飲め飲め飲むならば

日の本一のこの槍を

飲みとるほどに飲むならば

これぞまことの黒田武士

黒田節は宴席では必ずと行ってよいほど、歌
われ、また舞われる最もポピュラーな民謡の
一つです。この呑みとられたい日の本一の槍は
日本号と名付けられ、正親町天皇から時の将
軍足利義昭へ下賜され、更に信長から秀吉へ
と伝わり、天下無双の名槍と大図が秘蔵して
いたものです。それを、文祿の役での福島正
則の戦功を、大図が嘉よみされてさずけたものと
言われています。

この槍は現存しており、筆者も拝観したこ
とがあります。その槍身は一メートル足ら
ず、中央に龍の彫刻が施された、なかなか立



派なものだったと記憶しております。正則ももちろんこの槍を家宝として大切にしておりました。

（呑みとり事件）

ところがです。講談などでも御存知のように、ある日のこと、黒田長政の家臣母里太兵衛が、主君長政の使者として、福島正則のもとに使しました。使命を話し終って酒宴と化したのですが、それがか酔った正則は、大盃を取り出し、これで呑めと無理強ひされたのでした。太平衛も正則に勝るとも劣らぬ酒豪でした。が、使命もあったので辞退したところ、黒田家の家臣は、これさえ呑めぬ腰抜け侍ばかりかと散々のしらぬました。腹に据えかねた太兵衛は、それでは呑み干せば、日本号を下さるかと答えて、呑みなみとつがねた大盃の酒を呑み干し、槍を肩に悠々と引き揚げたのでした。

その翌日、なげれの上に日本号のなほのに警いた正則は使者を太兵衛のところへ送り、

取り戻そうとしました。が、太兵衛は「武士に二言はなはず」と、頑として戻しませんでした。これを聞かした黒田長政は、母里太兵衛こそ、君命を辱かしめず、これぞ黒田武士の筆鑑であると絶賛したのが、母里太兵衛呑みとり槍の由来とされてゐます。

（酒の功罪）

だれでも酒が入れば、多少とも自制力が失われ、口も軽くなるのが普通です。そして記憶もあひまひになることも珍らしくありません。また、そのために、人々との意志の疎通もスムーズに行われ、それがアルコールの大きな効用の一つでもあるのです。

だが正則の場合、酔からさめれば、家宝を持ち去られても、全く覚えていなはとこのです。から、少しはひどすぎます。これでは二日酔い、という段階を過ぎた異常酩酊と言ふべきでしょう。

以下略

徳島通信病院長・坂東定矩

歴史と病氣より

久々に恩師と語りどけあひて

新春寿ぐ我の幸い

新春の宴一夜は楽しけれ

新入会の友を迎えて

寒風に散りにし椿拾ひて

わがふるさとの友へおくりぬ

風早支部 長島玉風

新支部誕生

今回横須賀警察署吟道部が（横警支部）として常任理事会にて承認され発足しました。

支部長：鈴木幸山（三月入会 鈴木幸喜）

四月現在会員数：二十六名

（入）

△△△

（風早支部） 加藤禿子 葉山町堀内九七九

（電） 〇四六八一七五 〇一七二六

（ク） 岡 サヨ 〇七二一五

（電） 〇四六八一七五 〇二六六〇

（二色B支部） 高橋敬次 横須賀市芦名二五六〇

（電） 〇四六八一七五 〇五八三

（二色B支部） 佐藤恵二 葉山町一色二四九〇四

（電） 〇四六八一七五 〇一五二七四

（ク） 齊藤 誠 〇二五六〇四

（電） 〇四六八一七五 〇一七三〇五

（ク） 齊藤昌久 〇五三〇三九

（電） 〇四六八一七五 〇一五五五七

（ク） 行谷 隆 〇一二四三

（電） 〇四六八一七五 〇一五八〇七

（ク） 吉田三善 〇二六二三五

（電） 〇四六八一七五 〇一四三二三

（二色C支部） 奥野敏子 横須賀市平作五三三三

（電） 〇四六八一七五 〇一三七七七

（ク） 川口善美子 葉山町一色一七五九

（電） 〇四六八一七五 〇一三七二一

（ク） 河戸道子 下口一、二五八

（電） 〇四六八一七五 〇一四一一五

（ク） 鈴木洋子 一色一七九八

（電） 〇四六八一七五 〇一三五四三

（ク） 角田登志子 〇一九二七

（電） 〇四六八一七五 〇一四四一五

(二色C支部)

(横警支部)

正岡紀子 葉山町一色一八〇七

佐藤栄治郎 横須賀市鴨居三十九番

加治屋幸男 鴨居三三番

袴田節朗 長井三五九七

武内四郎治 秋谷七〇二

及川弘 浦賀五二五

石井禎二 横滨市磯子区栗木町八番

三好出雲 金沢区長浜三三二

青木清次 横須賀市佐原一丁四一

向山勇 藤沢市高倉九六三六

(二色B支部)

赤坂光男 横須賀市ハイランドテラス

佐藤重二 横滨市南区弁ヶ谷中町一〇八

鈴木倉松 葉山町一色一〇一三

松村キヨ子 千葉県安浦市堀江一七五五

濱添美義 葉山町上山口三九七九

高橋喜一 横須賀市芦名一、二六〇

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

新倉賢一 秋谷一五六七

(退会)

小山 照風 97 村田 絃風 143 依田 秋風

熊田香風(死) 307 金子 嶺山 353 栗原 九か

松原ミツ子 354 山口美代子 378 高梨 省吾

渡辺元治 (退会) 小林克美 (退会) 小泉美芳

名畑朝子 (退会) 小峰悠山 (退会) 鈴木ヨシエ